

**第3次厚木市立病院経営計画（案）に対する  
パブリックコメントの実施結果について**

**1 意見募集期間**

令和3年12月6日（月曜日）から令和4年1月7日（金曜日）まで

**2 意見の件数等**

- (1) 意見をいただいた人数      1人  
 (2) 意見の件数                      8件  
 (3) 案に反映した意見の数        0件

**3 意見と市立病院の考え方**

No.	意見の概要	市立病院の考え方
1	<p>貴院の計画などで「独立採算制を基本とする運営」を掲げておられます。また「公立病院の現状と公立病院改革について(令和2年7月10日 総務省 自治財政局 準公営企業室)」では、「独立採算が原則であり、主に診療収入で経営」と記載されているなか、医業収支比率を95.0%以下に設定されております。掲げられている旗にむけ、医業収支比率が100%を上回らない理由は何でしょうか。</p>	<p>市立病院では、独立採算制を基本としていますが、公立病院が担う政策的医療を提供していることから、これらの経費に対する市の負担金を含めた中で、健全経営を目指しています。</p> <p>なお、市の負担金については、目的に応じて医業収益と医業外収益に分けて計上していることから、経常収支（医業収支＋医業外収支）が黒字であることを健全経営として、数値目標を定めています。</p>

No.	意見の概要	市立病院の考え方
2	<p>人口減少（高齢増加、年少減少）のなか、救急車受入台数、救急応需率、手術件数、分娩件数、入院診療単価、外来診療単価を高めている見込み根拠はどこにありますでしょうか。何か具体的な施策を見込まれていますでしょうか。</p>	<p>救急車受入台数、救急応需率につきましては、神奈川県地域医療構想においては、高齢者の増加により救急搬送の増加が見込まれていることに加え、脳卒中センター設置を始め、二次救急医療機関として救急受入体制を強化することで、増加を見込んでいます。</p> <p>手術件数につきましては、8室ある手術室の効率的な活用を図ることで、横ばいの4,000件を見込んでいます。</p> <p>分娩件数につきましては、無痛分娩を始めとするニーズに応じた分娩体制の提供や、ハイリスク分娩等への対応により増加を見込んでいます。</p> <p>入院診療単価、外来診療単価につきましては、救急患者の増加、紹介患者の増加、逆紹介の推進などにより、上昇を見込んでいます。</p> <p>【P18～第3章 基本方針1 (1)、(4)】  【P33 第4章 4 (1)】  【P43～第5章 2 (2)、(3)、(6)】</p>
3	<p>脳ドック、セカンドオピニオン、治験、広告掲載事業、フィルムコミッションなどでどれ位の収入安定の確保を見込んでいますでしょうか。</p>	<p>御意見をいただいた5項目で約1,000万円の収入を見込んでいます。事業予算規模に対しては少額ですが、病院にある資源を活用して、積極的に新たな収入を確保していくことが重要であると考えています。</p>
4	<p>約6.6億円の返済が20年以上にわたって始まりますが、電子カルテ更新、長期修繕等の計画の過度な負担にならない範囲とは具体的にどれ位の額を見込んでいますでしょうか。</p>	<p>今後10年間の現金収支が黒字になることを前提として計画しています。</p> <p>【P50 第5章 3 (3)】</p>

No.	意見の概要	市立病院の考え方
5	<p>KPIになりますが、85%の病床利用率を維持のなか、入院単価や外来単価を高めている根拠は何でしょうか。</p>	<p>入院単価につきましては、紹介患者の増加のほか、DPC<sup>※1</sup>上での最適な入院期間での医療提供、新たな施設基準の取得などにより向上を図ります。</p> <p>外来単価につきましては、救急患者、紹介患者の増加のほか、逆紹介を積極的に推進することにより向上を図ります。</p> <p>なお、単価を高めるため、紹介や逆紹介については、率だけではなく、患者数についてもKPI<sup>※2</sup>としています。</p> <p>【P43～第5章 2 (2)、(3)】</p>
6	<p>収益的収支（表17）になりますが、医業外収益がR4年度よりR2年度実績の2倍になっています。一般会計からの繰入れが増えるという認識で良いでしょうか。</p>	<p>令和4年度以降の負担金につきましては、新たな重点施策となる政策的医療を提供するため、更なる一般会計負担金の確保に努める計画としています。</p> <p>なお、令和3年度以降につきましては、医業収益と医業外収益との配分を見直したこと、また、市立病院に寄せられたふるさと納税が大幅に増えたことで、医業外収益の負担金が増加しています。</p> <p>【P26 第3章 3】</p>

※1 Diagnosis Procedure Combination の略で、従来の診療行為ごとの点数をもとに計算する「出来高払い方式」とは異なり、病名や治療内容に応じて診断群分類し、分類毎に1日当たりの入院費用を定めた医療費の計算方式のこと。

※2 Key Performance Indicator の略で、重要業績評価指標のこと。実施した施策・事業の進捗状況や効果を検証する際に、達成の度合いを測るために設定する指標

No.	意見の概要	市立病院の考え方
7	<p>今後、少子化が進むなか、高齢出産も増え、晩婚化による出産リスクが高まりますが、リスクの高い妊産婦や新生児に対する高度な医療提供はどうか計画されていますでしょうか。</p>	<p>医師を始めとする人材を継続的に確保するとともに、総合病院として、多岐にわたる診療連携によるサポート体制を整えます。また、神奈川県周産期救急医療システムにおける協力病院として、体制を強化します。</p> <p>【P21 第3章 基本方針1 (4)】 【P36 第4章 5 (2)】 【P47 第5章 2 (6)】</p>
8	<p>外部要因からの影響として、第8次医療計画、改正医療法に対応した外来機能報告制度、専門医制度による小児科専攻医に対するシーリングなどにどう対応しようと考えられていますでしょうか。</p>	<p>第8次医療計画において柱立てが予定されている感染症医療につきましては、基本方針として新たに掲げています。外来機能報告制度につきましては、地域医療支援病院である当院においても、制度の趣旨を踏まえ、地域の医療機関と連携し、更なる外来機能分化を図ります。専攻医に対するシーリングにつきましては、専攻医研修環境の充実を図るとともに、医師の派遣元である東京慈恵会医科大学と連携して医師の確保に努めます。なお、国が策定する新たなガイドラインや神奈川県地域医療構想などにおいて、大幅な変更等があった場合には、一部改定などで対応する予定です。</p> <p>【P7 第1章 3】 【P22 第3章 基本方針1 (6)、(7)】 【P44 第5章 2 (3)】</p>

## 5 お問合せ先

- (1) 担当課名 経営管理課
- (2) 連絡先 046-221-1570 (内線 3220)

## 6 結果公開日

令和4年2月25日 公開